

科目区分	統合分野	科目名	在宅看護援助論 I (生活援助)	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(15H)	学期	第2学期
担当講師	非常勤講師				
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>在宅看護の展開方法を理解する。</li> <li>在宅療養生活を支える看護における基本的な援助技術を理解する。</li> </ol>				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>在宅看護の展開 (講義・演習) <ol style="list-style-type: none"> <li>在宅看護過程展開のポイント 療養者の多様な生活と価値観 生活環境や家族への視点 生活を支える制度・支援体制の理解</li> <li>在宅看護の過程の展開方法 在宅看護過程の特徴 情報収集とアセスメント 目標の設定・計画 実施と評価</li> </ol> </li> <li>在宅看護技術 (講義・演習) <ol style="list-style-type: none"> <li>在宅看護の活動を支えるコミュニケーション</li> <li>在宅で求められる看護技術 <ol style="list-style-type: none"> <li>呼吸に関する在宅看護技術 在宅看護における呼吸管理・ケアの特徴 呼吸に関するアセスメント 援助のポイント</li> <li>食生活・嚥下に関する在宅看護技術 在宅での食生活の特徴 食生活・嚥下に関するアセスメントと援助のポイント</li> <li>排泄に関する在宅看護技術 在宅での排泄の特徴 排泄に関するアセスメント 尿失禁の予防と工夫 排便のアセスメント 便秘・便失禁の予防と工夫</li> <li>移動・移乗に関する在宅看護技術 在宅での移動・移乗の特徴 移動・移乗に関するアセスメントと援助に関するポイント</li> <li>清潔に関する在宅看護技術 在宅での清潔援助の特徴 清潔援助に関するアセスメントと援助に関するポイント</li> <li>認知機能のアセスメント法と援助技術</li> <li>コミュニケーションの支援</li> <li>在宅におけるエンドオブライフケア</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>まとめ 科目修了試験</li> </ol>				
看護師国家試験出題基準	<p>食事摂取能力 食事内容の選択 食材の調達の方法に関する援助 栄養を補う食品の種類と選択方法に関する援助  食事摂取量低下時の援助 口腔ケア 排泄の状況と障害 排泄補助用具の種類と選択方法 尿失禁の予防と援助  便失禁の予防と援助 便秘の予防と援助 ストーマケア 清潔の保持の状況 清潔の援助方法と自立支援  ADL・IADLのアセスメント ADL・IADLの維持および向上のための援助 移動時の安全確保  移動補助用具の種類と選択方法</p>				
授業の進め方	<p>講義・演習を組み合わせで行う。  在宅看護の対象の特徴をふまえ、事例を用いて演習を行う。  家庭にある物品を代用した援助技術を考察する。  在宅療養者とその家族の状況がイメージできるよう視聴覚教材を用いて学習を行う。</p>				
履修のポイント・留意事項	<p>在宅看護概論、人間と社会、共通基本技術、日常生活援助技術の学習内容(知識・技術)を復習して授業に臨む。また、在宅療養者への援助においては、疾病・治療論の学習内容を復習して授業に臨む。在宅療養者を生活者の視点でとらえ、療養者と家族のQOLを考慮した援助ができるよう学習を深めていく。</p>				
テキスト	<p>系統別看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院</p>				
評価方法・配点	<p>終了試験・課題レポート・授業参加状況を総合的に評価する。</p>				